

コミュニティ・スクールを 導入しませんか？

近頃の学校や地域には教育課題がたくさん！



学校では・・・いじめや不登校、学習指導要領の改訂、学校における業務改善
 地域では・・・地域のつながりの希薄化、地域の教育力の低下
 社会では・・・急激な少子高齢化やグローバル化の進展に伴う激しい社会環境の変化

コミュニティ・スクールを導入するまでは・・・

- 地域の声**
- ・通学路で子供が騒いだり、交通ルールを守らず困る・・・
 - ・子供たちの登下校が心配・・・
 - ・自分の経験を生かして、学校や子供たちをサポートしたいが・・・
- 学校の声**
- ・価値観が多様化し、学校運営や諸課題について地域から厳しい意見が・・・
 - ・子供1人1人と向き合う時間を作りたいが・・・

そこで、コミュニティ・スクールを導入すると・・・



(期待できる効果)

- ・教育課題を学校任せにするのではなく、地域住民が学校とともに対応策を考えます。
- ・専門性をもった大人や地域の持つ教育資源を活かした学校運営や教育活動が実現します。
- ・学校の現状や運営方針について地域の理解が深まり、地域が学校の応援団になります。
- ・学校と地域の適切な役割分担により、先生方が子供と向き合う時間確保につながります。

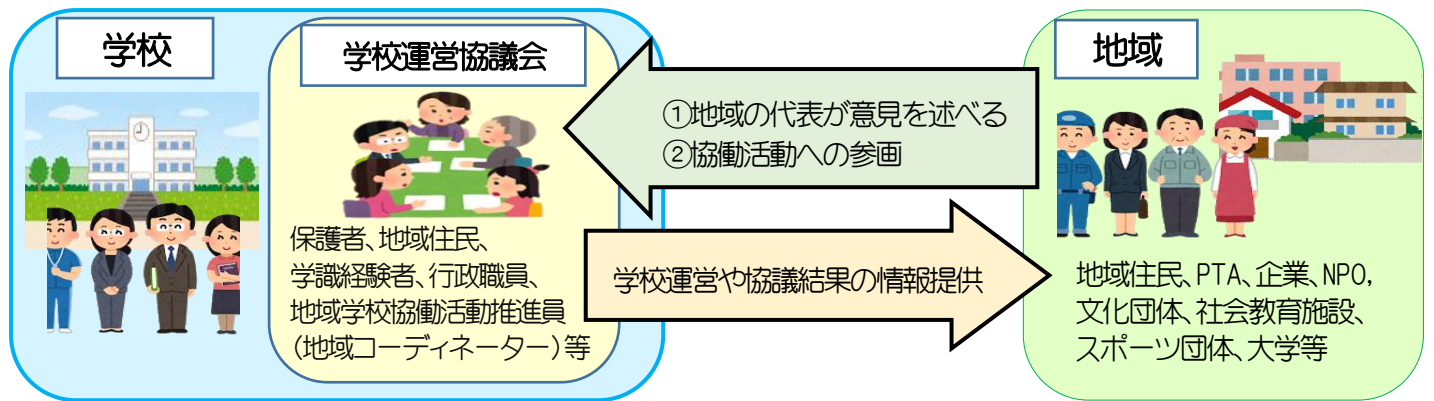
学校の応援団を増やして、教育課題を解決！

平成29年3月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正によって、学校運営協議会の設置が**努力義務**となりました。

※全国の小・中・義務教育学校コミュニティ・スクール数・・・**6,767校**
 (全体の**23.7%**)
 令和元年5月1日現在

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み

☆保護者や地域住民等が、一定の権限や責任を持って学校運営に参画する仕組み



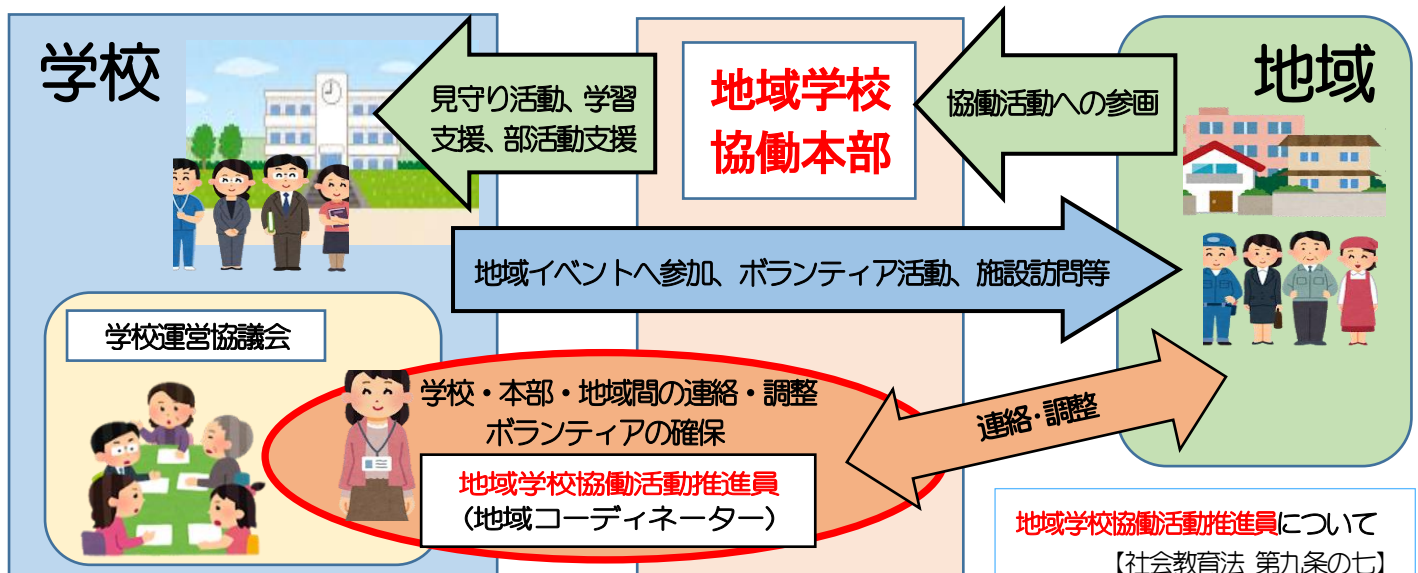
学校運営協議会の主な機能 (地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5)

- 学校運営の基本方針を承認する
- 学校運営について教育委員会又は、校長に意見を述べることができる
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる

さらに、コミュニティ・スクールに**機動力をプラス**すると...

「学校」と「地域学校協働本部」と「地域」の関係

☆学校と地域がパートナーとして連携・協働する仕組み



「地域学校協働本部」の機能

- ①コーディネート機能(学校と地域の連絡調整、ボランティアの確保等)
- ②多様な活動(より多くの地域住民の参画による特色のある取組の推進)
- ③継続的な活動(多様な活動の継続的・安定的実施)

地域学校協働活動推進員について
【社会教育法 第九条の七】
地域学校協働活動推進員は、学校関係者や地域の方々との連絡調整、地域のボランティア・講師の確保、活動の企画調整を行います。
(平成29年3月改正)

千葉県のコミュニティ・スクール(令和元年5月1日現在)

- 【市川市】幼稚園6園、小学校38校、中学校15校、義務教育学校1校、特別支援学校1校
- 【習志野市】小学校1校 【柏市】小学校2校、中学校2校 【山武市】小学校1校、中学校1校
- 【睦沢町】小学校1校 【長南町】小学校1校 【君津市】小学校1校、中学校1校

